



姉妹の皆様

主の平和が皆様とともにありますように！

今年、私たちは、大きなチャレンジの中で聖霊降臨の祝日を祝っています。新型コロナウイルス感染症の世界的大流行によって、特に、最も弱い人々、大きな苦痛と不調和の時を生きている貧困層の人々が大きな打撃を受けています。私たちの会も悲しみのうちにあります。種々の計画が保留になっています。この試練の時、皆様が、苦しみ、勇気、希望、また頂いた恵みを分かち合ってくださいました。



イエスの死後、弟子達が家の中に閉じこもっていたことを思い出すにはいられません。彼らは、実際に家の中にこもっていました。恐れ、悲しみ、失望、計画が思いどおりに進まなかったゆえに自分たちのうちに閉じこもっていたのです。まさにそこに復活されたイエスが入って来られ、弟子たちが喜びと同時に疑いを抱いていた時、平和の挨拶をされました。聖霊を送ると約束されたのは丁度そのときでした。復活祭と聖霊降臨は、歴史的にも危機の時に起こっています。

この危機が、私たちに何を経験させ、何を教えてくれるでしょうか。小教区、教区、教皇フランシスコ、国のリーダー達、また、友人やいろいろな組織からメッセージが届きました。私たちは、ソーシャルメディアの情報によって、時には圧倒されることがあります。私たちの心に触れ、チャレンジし、回心へと招くメッセージを大切に、生活の中で役立てていきましょう。



今年の聖霊降臨は、総会后私たちがはじめて祝う祝日です。

ニコラ・バレが、決定的に神と出会ったその日が丁度、今年の祝日に重なります。何という偶然の一致でしょう！

死の数時間前、彼は、聖霊が私たちに靈感を与え、教え、導いてくださるよう祈ることを約束されました。時間があり、興味のある方にお勧めします。

新約聖書は、生活の中での聖霊の働きについてどのように語っているか調べてみてください：動詞“**靈感を与える、教える、導く**”など。聖霊に祈る時、私たち自身のため、会全体のためにこれらの恵みを願いましょう。「弁護者、すなわち父が私の名によってお遣わしになった聖霊があなた方にすべてのことを教え、私が話したことをことごとく思い出させてくださる。」(ヨハネ 14:25-26) 聖霊のみが、創立者が望んでおられたような仕方で、私たちの生活に福音を受肉させてくださることができるのです。



総会前と総会の会期中、また各管区・地区の総会の間、一人ひとりにとって、また被造界にとって、私たちが神の愛の証しとなるよう、会全体が聖霊に扉を開きました。聖霊の息は、境界を越えて私たちの絆を強め、私たちと共に歩みたいと望んでいる信徒とカリスマを分かち合い、被造界を大事にし、地球の叫び、貧しい人々の叫びを聞いて共に歩むよう私たちに前進させてくれます。この感染症の世界的大流行によって、これらの新しい道は、これからも変容されて

いくでしょう。私たちが進む道を見失わないようにしましょう！

聖霊降臨は一時的に人を奮い立たせるような、単なる一日の出来事ではありません。

その豊かさは使徒言行録全体を通して展開し続けていきます。聖霊降臨のとき、聖霊が歴史に入り、以来私たちの生活に復活された主が住まわれるようになったからです。使徒言行録の物語にはこの歴史が深い喜びと創造性の源であること、しかし、又、新しく生まれた共同体が発展してくるにつれて緊張にもなったことが示されています。他の場所から来た人々を歓迎することの難しさについて考えましょう。彼らの宗教、文化そして伝統によってイエスの弟子達はチャレンジを受けました。彼らは意見の不一致を経験しました。彼らが先に進めるようになったのは一緒に祈り、対話することを通してでした。彼らは、キリストのメッセージがすべての人々に良い便りとして歓迎されるように、未知の事柄、不測の事態に対していつも備えていることを学びました。

私たち自身はどうでしょうか？聖霊が目の前に開かれている道と一緒に歩むよう呼びかけています。聖霊の働きは続きます。その働きは予測できません。「あなたはその音を聞いても、それがどこから来てどこへ行くかを知らない」(ヨハネ3:8) 聖霊の声を聴きましょう。新しいことを



恐れて戸を閉めてしまわないようにしましょう。応えを一緒に探しましょう。他の人が持っている真理を謙虚に喜んで受け取りましょう。そして、押し付けることなく勇気をもって自分の意見を表現しましょう。多様性からチャレンジを受けましょう。祈りと話し合いによって決定することが熟したものとなりますように。聖霊と一緒に歩んでくださっていることを確信できるようになると、会員と信徒が共に新しい道、初めから私たちに委ねられているミッションが形をとるでしょう。聖霊降臨後イエスがペトロになさったように、私たちに力と勇気を与えて使命を果たさせてくださるのは同じ聖霊です。

聖霊が私たちを教え、導き、息吹を与え、総会で私たちの前に開かれた道を進んでいくことができますように。一緒に、「すべての被造物を大切にし、その贖いに協力する」ことができますように。

(ラウダート・シ)

ジェーン、フェリシア、マリナ と共に
皆さまに、聖霊降臨のお祝いを申し上げます。

傷ついた人を癒す方、聖霊の力が私たちの病気の姉妹たち、友人たち、
そして世界中の人々に届きますように。

シスターブリジット

摂理会のシスター達からの招き：

2020年10月21日から翌年まで、ニコラ・バレ生誕400年を共に祝います。
それぞれの国で祝い方を考えましょう。

エミリーパペ（新しい古文書係）より：

エミリーは、今、何を次世代の人々に残したらよいか、気にかけてくださっています。
彼女の提案は、現今の「新型コロナ感染症の世界的大流行」の間、証言や毎日の生活の記録を集めておくこと。このイニシアティブは、数ある信徒との協働の在り方の一つであると思います。

